

地震！その時の行動

千葉県立姉崎高等学校

地震時の行動

グラツきたら身の安全

- 地震の時は、まず身の安全をはかり、揺れがおさまるまで様子を見よう。



地震直後の対応

落ち着いて 火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。
- 出火した時は、落ち着いて消火する。



地震直後の対応

あわてた行動 ケガのもと

- 屋内で転倒・落下した家具やガラスの破片などに注意する。



地震直後の対応

窓や戸を開け 出口を確保！

- 揺れがおさまった時に、避難できるように出口を確保する。



地震直後の対応

落下物 あわてて外に飛び出さない！

- 瓦や窓ガラス、看板などが落ちてくるので注意する。



地震直後の対応

門や塀には 近寄らない！

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の対応

正しい情報 確かな行動！

- ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



地震後の対応

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否！

- わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



地震後の対応

協力しあって救出・救護！

- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになっている人を近隣で協力して、救出・救護する。



地震後の対応

避難の前に安全確認 電気・ガス

- 避難が必要な時には、ブレーカーを切って、ガスの元栓を締めて避難する。



防災対策 10ヶ条

① 家具類の転倒・落下防止を しておこう！

- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒落下防止措置をしておく。



② ケガの防止対策を しておこう！

- 災害に備えてスリッパやスニーカーなどを枕元に準備しておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- 食器棚や窓ガラスなどにはガラス飛散防止措置をしておく。



③ 家屋や塀の強度を 確認しておこう！

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートの塀は、倒れないように補強しておく。



④ 消火の備えを しておこう！

- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。



⑤ 火災発生の早期発見と 防止対策をしておこう！

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報機を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具はプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のため漏電ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



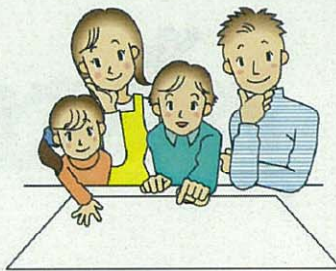
⑥ 非常用品を備えておこう！

- 非常用品は置く場所を決めて準備しておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の回りにあるものの活用方法を考えておく。



⑦ 家族で話し合っておこう！

- 地震が発生したときの出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 家族が離ればなれになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。



⑧ 地域の危険性を 把握しておこう！

- 地域の防災マップに加えてわが家の防災マップを作っておく。
- 自分の住む地域の地震危険度を確認しておく。



⑨ 防災知識を身につけて おこう！

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 自治体や消防署などが実施する訓練などに参加し、過去の地震の教訓などを学んでおく。



⑩ 防災行動力を 高めておこう！

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急手当、通報連絡、避難要領などを身につけておく。

